



リーブラ・パープルリボン運動2025 女性に対する暴力をなくす運動 展示企画

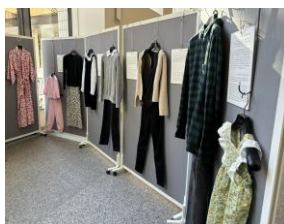


毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。リーブラでは、同期間に合わせて、展示企画を行います。

①前期企画 11月1日(土)～14日(金)

展示:「そのとき、あなたは、何を着てた?～What Were You Wearing?～」

協力: WWYW SOPHIA



©MasakoTanaka SOPHIA UNIVERSITY

性暴力被害者がその時着ていたもののイメージに近い服装を展示する「そのとき、あなたは、何を着てた?～What Were You Wearing(WWYW)?～」。

アメリカの倫理学者メリー・シマリングの詩「What I was wearing (私が着ていたもの)」をヒントに始まり、一昨年11月に日本で初めて実施されました。

今回は、その内容を借用し、展示します。

「挑発的な服装をした若い女性が被害に遭う」という先入観を無くし、「あなたは悪くない」というメッセージを広めることを目的とします。

②後期企画 11月17日(月)～25日(火)

パネル展：有識者によるメッセージボード

今年度は「性暴力」について、4名の有識者の方から「障害」「性的マイノリティ」「被害者資格」「戦争」をテーマにメッセージをいただきました。

パープルリボン期間を機に、見えづらくなっている問題や、暴力撲滅のために私たちができることについて考える機会とします。(以下、50音順で紹介)



岩田 千亜紀(いわたちあき)さん 岡田 実穂(おかだ みほ)さん
東洋大学 福祉社会開発研究センター 一般社団法人 Broken Rainbow-japan
客員研究員 代表



牧野 雅子(まきの まさこ)さん
四天王寺大学社会学部 講師



松原 文枝(まつばら ふみえ)さん
テレビ朝日 ビジネス開発担当部長
映画『黒川の女たち』監督

③通期企画

11月1日(土)

～

25日(火)

団体作品展



リーブラで活動されている団体からパープルリボンのシンボルカラーである紫色を基調とした手作り作品やメッセージカードを募集し、展示します。

※11月15日(土)・16日(日)は休館日です。

関連講座のお知らせ

- ・オンライン講座【子どもの性暴力被害当事者が語る、これからの支援とまなざし】11/8(土)14:00～16:00 (申込受付中)
- ・対面講座【あなたは悪くない、そのとき何を着ていても】11/23(日・祝)14:00～16:00 (申込受付中)
- ・オンライン講座【いま、モラハラに苦しんでいるあなたに知ってほしいこと】11/24(月・祝)14:00～16:00(10月21日(火)～申込開始)



みんなと結ぶ「へいわ」
～港区平和都市宣言40周年～



港区立男女平等参画センター

リーブラ

〒105-0023 港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦
Tel:03-3456-4149 Fax:03-3456-1254

